

平成 16 年 10 月 13 日

各 位

会社名 株式会社ミスミ
代表者名 代表取締役社長 三枝 匡
(コード番号：9962 東証第一部)
責任者役職名 取締役 伊藤 善廣

会社名 駿河精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 敏夫
(コード番号：6468 東証第二部)
責任者役職名 取締役 望月 信行

「ミスミと駿河精機の経営統合について」の開示内容の補足

平成 16 年 10 月 13 日付で開示いたしました、「ミスミと駿河精機の経営統合について」に関し、下記のとおり内容を補足いたします。

記

株式会社ミスミ（以下「ミスミ」）は、独自のカatalog販売で業界標準を実現し、お客様が必要とする「短納期・高品質・低コスト」のオリジナル性の高い商品を提供し続けることで、この 10 年間、年平均 13%の高い成長を実現してまいりました。

ミスミは、グローバルな生産体制の構築による海外展開の加速化や、成熟化した国内金型市場における事業内容の再構築などを実現することによる新たな成長を目指しております。そのためには、永年に亘り友好な関係を構築し、金型部品事業等の有力な仕入先であり、加えて先端技術に高い評価を有する駿河精機株式会社（以下「駿河精機」）が最良のパートナーであると考え、本年 6 月下旬に経営統合の申し入れをいたしました。しかも、斯界における商品・技術などの変化は激しく、かつ競合も様々な手法で追随してくるなかでは、本統合を、スピード感を持って実行することが急務であると考えております。

一方、駿河精機は、固有の生産技術力、商品開発力を有し、ミスミ向け以外の商品は独自の販売網を構築し高い成長を実現しておりました。しかし、国内の金型部品の高精度化や、アジアを中心とした海外の市場拡大等、企業環境の変化が進んでおりました。そのような中、更なる企業発展を目指すため、本年 6 月上旬東京証券取引所市場第二部に株式を上場した矢先ではありましたが、ミスミとの補完関係や具体的シナジーの発揮、ミスミの企業文化、上場後間もなく経営統合を行うことに対する是非等、慎重に検討した結果、このタイミングの重要性を強く認識し、本統合を目指すことが今後の成長にとって最善の選択肢であると判断いたしました。

この経営統合は、ミスミの保有する広域販売力に、駿河精機の保有する先端技術を融合することにより新たな商品領域を拡張し、また、従前両社個別に展開していた海外戦略も新たな局面に立脚し、製販一貫した戦略の立案が可能となる等々、多くのシナジー効果が生じます。

このように、両社のステークホルダーにとっても、統合後の両社の新たな成長による収益の向上により、企業価値が増大しより大きなメリットを享受できるものと確信しております。

この件に関するお問い合わせ先：

株式会社ミスミ

経営企画室長 高家 正行

TEL: 03-3647-7037

駿河精機株式会社

管理部 次長 杉山 真実

TEL:0543-44-0311（代）

以上